



**教育活動の目標と方策**

**【良質な授業】－ 教師の創造性が勝負！ －**

○教師自らが常に学ぶ姿勢を持ち続け、子供・教師が共に手応えを感じられる授業づくりを行っていく。

①教師自らが学び、授業の質を高めていく。

- ・計画的・系統的な授業
- ・校内研究の充実 研究テーマ「主体的に考え、伝え合う力を育てる \*単元のめあてに迫るための言語活動の工夫」
- ・柏小スタンダードに基づく授業スタイルの確立（課題解決型授業・深い学びにつながる話し合い活動の工夫）
- ・英語指導力の向上（推進リーダーを活用した組織的な向上）
- ・OJTの活用（特設OJTによる授業力・特別支援力の向上）

②児童の学力向上と体力向上

- ・基礎・基本の徹底（定着度テストによる実態把握、計算領域における指導の共通化、補習・朝学習によるベーシックドリルの活用）
- ・課題解決型授業の展開（資料の提示と予想場面の工夫）
- ・サーキットトレーニングや遊具の活用・オリパラ教育の推進
- ・小中連携と英語活動の充実
- ・市民科の推進（多摩・武蔵野検定、防災教育を柱とした小中連携の推進）
- ・道徳の授業化への取組（評価の研究）
- ・英語・外国語活動の充実

**【安心と安全】－ 足で稼ぐ！ 手本を示す！ －**

①学校づくりと学級作り

- ・押し量りと寄り添い
- ・計画はゴールから、現場はスタートから
- ・人を育てる（委任・安心・手応え）

②基本的な生活習慣の確立

- ・生活習慣作りの共通実践
- ・保護者への啓発

③いじめ・不登校への対応

- ・児童理解（子どもや集団の素の姿を見る）
- ・いじめ防止への取組（温かな学級の風土作り、組織的な対応、第三者への啓発）
- ・行為への対応と気持ちへの寄り添い
- ・欠席児童への対応

④特別支援教育の充実

- ・特別支援教育への理解（科学的な知識理解とスキルアップ）
- ・ユニバーサルデザインに基づく授業作り
- ・校内委員会の活性化
- ・柏小きらりの立ち上げ準備

⑤危機管理意識の向上

- ・管一幹一任一教諭の相互方向のライン作り

⑥保護者への対応

- ・誠実な対応と寄り添う姿勢（一緒に悩む姿勢！）

**【チームプレー】－ お互いさまの心をもって－**

○助け合い、感謝し合い、過ちを許し合う心  
できない理由を探るのではなく、どのようにしたらできるのか知恵を出し合う！

①目標の共有化と組織的な対応

- ・温かく認め合い、高め合う職員室文化の創造
- ・組織的な取組（課題の共通理解と取組への役割分担）

②ネットワークによる学校の活性化

- ・保護者の学校づくりへの参画（積極的に保護者を頼る）
- ・各種交流による多様性尊重教育（1年：幼保小連携 2年：ニューカレドニア 3年：サンバーナディノ 4年：朝鮮学校 5年：障がいのある方との交流）

③指し手感覚での取組

- ・ゴールと手立て（自ら目標をたて、到達までをイメージする）
- ・意義と価値（すべきことに意義を見だし取組に価値付ける）

④危機管理とサービス事故の未然防止

- ・危機管理意識の向上と組織的な取組（「これくらいなら」という意識との戦い）
- ・事態の影響（黄色信号で動く、事故発生時をイメージする）
- ・互いの声かけと防止システムの構築

